

令和7年度 久々野中学校 学校経営の全体構想

＜高山市の方針と重点＞

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

◎郷土教育

◎キャリア教育

◎プレゼン教育

◎ICT教育

＜学校の教育目標＞

心豊かでたくましい生徒

○自学 ○協調 ○健康

＜地域で願う子ども像＞

地域や人々を大切にする

たくましさのある子

＜学校課題＞（□強み ■弱み）

□活動に対しての真面目さ

□授業や行事への実直な取組

□保護者や地域の協力体制

■考えや願いを表現する力

■過去のできごとからの脱却

■生活リズムの調整力

■意見交流での互いの高め合い

＜育てたい資質・能力＞ 殻を破り 相手意識をもち 一步を踏み出す生徒の育成

＜学習づくり＞自分なりの方法で追究し、仲間と共に学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成

○生徒一人ひとりの実態把握

・興味関心や既習内容の定着度等の事前把握

・実態に応じた学習課題の提示

○個別最適な学び

・まず、自分の力で取り組む課題解決学習

・追究方法を自ら選択できる多様な学びの保障

○学力をより定着させる学習活動

・自分の課題を分析し、考えて取り組む家庭学習

・読解力を定着させる読書の推進や図書館活用

○協働的な学び

・自己内や資料、グループ内等の対話の位置付け

・議論レベルを目指すための授業改善・授業交流

・プレゼンを活用した発表の工夫や改善

○生徒が中心となった授業づくり・授業向上

・生徒会学習委員会が中心となった授業の充実

＜生活づくり＞自分たちの生活をよりよくするために、願いや思いを表出できる生徒の育成

○願いをもち、自己実現に向けての取組

・「なりたい自分」の設定と具体的な評価による変化や伸びの実感

・相互評価を通して自己効力感、有用感の向上

・自分の長所や強みの発見と自覚

○生徒自身の手による学級活動・生徒会活動

・生徒のアイデアや願いの尊重、実現

・見栄えよりやりがいや達成感を味わえる活動

○仲間とのちがいの受容

・互いのちがいを認め合い、よさと認識できる仲間関係づくり

・トライ＆エラーの実践

・いじめを許さない、いじめを見て見ぬふりしない心情や態度、仲間関係の育成

・「ぎふ いのちの教育」の意識と実践

＜地域づくり＞地域の一員とし参画し、ふるさと久々野に誇りをもてる生徒の育成

○地域の行事やイベント等への積極的な参加 「地域に打って出る久々野中」

・地域行事でのボランティア参加、発表 ・各施設での合唱やコンサート ・地域防災学習への参加 等

○久々野の未来を創造する夢プランの推進 「地域に発信・提案する久々野中」

・平和学習を通じたふるさととの幸せの実感、継承プラン（3年）

・キャリア教育を中心としたふるさととの産業発展プラン（2年）

・ふるさととの自然や文化等、地域資源発見や活用プラン（1年）

○家庭やPTA、保育園や小学校、久々野支所、学校運営協議会、まちづくり協議会との連携・協力

＜久々野中ミッション＞地域の諸問題を追究し、自分事として考え、そこで学び得たことを生かしながら、地域に発信し、貢献する。

＜久々野中ウェルビーイング構想＞

今もこれからも、生徒や教職員にとって学びがいや働きがいを実感でき、ふるさと久々野の幸せや豊かさとは何かを問いながら、地域とともに追い求め続ける学校

＜指導の構え＞ キーワード “向き合う”（生徒と・同僚と・地域と・自分と）

○生徒や地域のために自ら学び続ける教職員

・伴走者として授業改善や行事への取組

・積極的にICTを活用した新しい取組への挑戦

・学年担任制による相談体制の充実と早期対応

・生徒の命や安全を確実に守り切る自覚

・地域素材の開発と人材活用

・学校公開を通しての地域とのつながり強化

・合同修学旅行に向けての朝日中との共同学習

○自ら働き方を考えられる教職員

・授業研究を最優先できる働き方改革

・ワーク・ライフ・バランスと自身の健康管理

・教職員間のコミュニケーションの充実

・多様な勤務形態や地域クラブ指導者への理解

・報連相の徹底

・不祥事根絶とコンプライアンス遵守

・オールマイティーからスペシャリティーへ

